



パワー浜松ロータリークラブ週報 2014年12月2日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Way を確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15 年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307 号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第559回例会 12月2日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 鈴木一広、奥山恵理子 ●点鐘: 小林昭次 ●ロータリーソング: 夢のみずうみ
- ゲスト: 米山記念奨学生 暢婉君さん
- 議事: 募金活動委員会 「障がいのある人と共に生きる」

<出席報告> 本日出席率71名 86, 59% 前々回出席率86, 59%

■ 会長挨拶

今日、久しぶりに「夢のみずうみ」を歌いまして、いい曲だなあと。本当にクラブにとって誇らしく、改めて財産の一つだと思いました。

高倉健に続いて菅原文太が亡くなり、僕らの年代にとってはものすごくさみしい冬になってしまいましたが、皆さんいかがでしょうか。

先日沖縄で全国のセキスイハイムの表彰式がありました。半年に一回、上期・下期ごとに、札幌・博多・沖縄・仙台等々で開催される表彰式ですが、受賞された営業の社員が約500名いました。新築やリフォームの営業マン、インテリア、エクステリアの担当者などもありました。

例年に比べると100名程受賞者が減っている。基準は同じなのですがやはり世の中の状況が厳しいという事で受賞者が減っています。新築で一番多く売った人は福島の営業マンで、半年間に16棟、金額にすると5億5900万円です。一人でこれだけ売り上げるこんな社員が何人かいると助かるなあと思いますが、全てアパートなのですね。

今、東北地区は復旧復興、住宅不足ということで猛烈な勢いです。当分は東北のアパート担当者が表彰されるという時代になっております。56歳で累積200棟ということですから、大学をおいて三十数年で200棟。逆にいえばそれ程の営業マンでもないけれども、そんな時代背景の中で全国一位になった。この例を見ても時代が見えるかなあ、と思います。

弊社のトップ営業マンは12位でした。毎回ベスト10に入っていましたけれども、今回は残念ながら12位ということでした。次回はぜひベスト10の中に顔を出して、出来れば代表者としてスピーチをお願いしたい。トップの営業マンのスピーチは中々いいです。泣かせる話が多くて。上司への感謝と合わせて必ず奥さんに感謝する。ホンマかなと思いますが、奥さんへの感謝は必ずします。苦労話も聞けてなかなかいいものです。我社の社員にも経験させたいなと思います。

■ 幹事報告

本日のレターボックスへの配布物は、本日の卓話の資料と昨年度の事業報告書、ロータリーの友12月号です。12月のRIは家族月間です。

12月号の14・15ページに当クラブの加藤ご夫妻と中野ご夫妻の記事が掲載されています。先週当クラブの奥山さんが愛知県瀬戸市の瀬戸RCで卓話をされ、その時にバナー交換をされたという事なので披露して頂きます。

12月より事務局の勤務日や勤務時間が変更となり、週3日の勤務となりました。メールの資料をご確認頂き皆様のご協力をお願い致します。今後メールでのやり取りが多くなりますので、必ずご確認をお願い致します。本日は久しぶりに塩谷さんが例会に出席して下さいました。せっかくですので一言お話頂きたいと思います。20日に出雲殿で行われる「クリスマス&忘年会」には、ご家族皆様でご出席下さい。

■委員会報告 親睦委員会 小田木 12月20日クリスマス会について

■スマイル

小澤邦比呂、青山素久:

本日2013-14年度の事業報告書の配付をいただきました。松本前会長、諸星前幹事、約2年にわたる会長幹事業務大変おつかれ様でした。

武田信秀、伊藤勝人:

先日、雨天の中でしたが無事自衛隊見学を終える事が出来ました。30人近い参加者みんなが本物のF-15戦闘機の迫力には圧倒され、とても楽しそうだったのが印象に残りました。堀内様、中島様の段取りのお陰で無事終わった事、感謝いたします。DVDをもらった皆様、ぜひスマイルお願いします。

村井睦彦:

本日は安間孝明様、卓話ありがとうございました。また、「愛の都市訪問」の募金、御協力ありがとうございました。

障がいのある人と生きるNPO法人 安間 孝明 卓話

障害者の福祉就労での1月の給料、工賃はいくらか？
の質問をから始まった卓話は持ち時間をあっと言う
間に越えた熱いメッセージとなって会員に伝わりました。

どうしたら、工賃を向上させることができるか

それは彼らの可能性を信じること 彼等と共に生きる！と決めることから始まりました。

最近、羊水検査で染色体に異常のある妊婦が中絶してしまうということが起きています。ダウン症の子供を生みたくないからです。中絶率は？日本では、97%。そこでイタリアのダウン症支援団体が製作した映像が世界中で反響を呼びました。障害は決してマイナス要素ではないことをアピールしているからです。何故か？障害は不幸。という図式、思い込みがそこにはないから。不安と不幸は違う。可能性を信じた時、未来は開かれることを彼らは信じているから。聖書の中でイエスは、生まれつき盲人を前にして弟子たちにこう質問されたと伝えられています。「彼が盲目に生まれついたのは、彼が罪を犯したためですか、それとも両親ですか」イエスは、「本人でも両親でもない。神のわざがこの人に現れるためだ。」と。私の福祉への道は、この衝撃的な言葉との出会いから始まりました。従妹との出会いから福祉への道へ。長野大学の福祉学部卒業後、福祉の世界へ。さまざまな体験を通じて生まれた疑問、そして夢。公費に頼らないでやっていける試み。30年かかりましたが妻の理解と協力があり少数で暮らせる家（ケアホーム）を一步ずつ現実のものとしてきました。言葉にはできないほど多くの苦労がありました。障害者の可能性を信じるどころか、危害を加えるのではないかという恐れがまだまだ一般社会にあるからです。

10年前、NPO法人設立。教会名と共に心の中に始まった種を発芽させました。身銭を切ったボランティア運営。「儲けよう！」がみんなのスローガンでした。「ボランティアじゃ無責任になるからダメだ。潰れたら近所のアックくんどこへ行ったらいいのか」応援してくれていた仲間の助言からボランティアから

浜松市の補助金事業へ舵をきりました。通常の企業は、国の支援はない。自分たちには、障がいのある仲間と給付費がある、それに甘えず一般のビジネスシーンへの営みへ。「罪責感を持って仕事せよ！」これを成功させないと、障害者を救うどころか障害者を放置する社会を認めてしまうことになってしまいますから。カレー屋をはじめアクトプラザでのショップ、色んな場面で挑戦しそのチャレンジは今も続いています。ロータリーを通じて他業種の人との交流から生まれる事業もありました。本当にありがとうございます。障害者に仕事の間を与えてくれること、これこそが彼らの未来を明るいものに導いてくれるのですから。

最後に、福沢諭吉の言葉を発表して終わりたいと思います。

- 1.世の中で一番楽しく立派な事は一生涯を貫く仕事を持つことです。
- 1.世の中で一番みじめな事は人間として教養のない事です。
- 1.世の中で一番さびしい事はする仕事のない事です。
- 1.世の中で一番みにくい事は他人の生活をうらやむ事です。
- 1.世の中で一番尊い事は人の為に奉仕し決して恩にきせない事です。
- 1.世の中で一番美しい事はすべてのものに愛情をもつ事です。
- 1.世の中で一番悲しい事はうそをつく事です。



どうか彼らの可能性を信じて、働く場を提供してください！よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。